

さわやかCPAP便



第 26 号

医療法人社団

大竹内科呼吸器科医院

H22 年 11 月発行

CPAP 治療の患者さま、なんと

400 名 突破!!

大竹内科呼吸器科医院も 6 年目に突入して、とうとう CPAP 治療の患者さまが 400 名を超えました。**『睡眠時無呼吸症候群』**なら大竹内科呼吸器科医院とうれしい言葉を聞くことが多くなってきて、やっと地域に根付いてきたのかなぁと感じています。睡眠時無呼吸症候群は、つい 34 年前に定義が確立したまだ新しい病気です。日本人は肥満だけではなく、あごが小さいなどの骨格の影響を受けやすいためこれからますます患者は増加していくと予想されます。大竹内科呼吸器科医院・スタッフ一同、できる限りお手伝いさせていただきますのでこれからもよろしくお願ひいたします。

大竹先生からのメッセージ

睡眠時無呼吸症候群の治療を開始してから 6 年目に入り、CPAP を行っている患者様が 400 名を超えました。殆どの患者様が当院で検査を受けていただき治療に至った方ですので、年間 80 名程度の患者様が治療を開始してきたこととなります。開院当初は、岩手医科大学の櫻井滋先生や虎ノ門病院の成井先生に指導を仰ぐこともありました。治療を開始して分かった事は、教科書どおりの治療ではうまくいかないということでした。残念ながら、山形は冬が寒く、夏が暑いという寒暖の差の激しい土地柄です。このため、冬になるとマスク内に結露がおきて CPAP の使用が困難となります。CPAP に支障をきたす事は他にも色々ありましたが、殆ど教科書には載っていないことで、実際の治療を通して解決法を見つけるしかないものでした。当院は皆様から収集した情報を出来るだけ還元し、より快適な治療になるよう努力してまいります。

睡眠時無呼吸症候群はご存知のように、高血圧、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病という合併症を併発し、重症な人では生命の危険ともなりうる病気です。我々は今後もさわやか CPAP 便を通じて CPAP の重要性を訴え、治療を継続して頂くようサポートしていきます。

だんだん
寒くなって
きました!

結露の季節です。室温やホースカバー、吸水シートなど対策を講じてください。乾燥や冷風でお困りの方は、CPAP 用加湿器の使用がオススメです。結露・乾燥対策についてわからない方は、先生またはスタッフにお尋ねください。

予約制について

季節が変わり、風邪やぜんそくの患者さまが増えてきて、予約がとりにくい状況が発生しております。特に夕方や土曜日、月末に受診希望の方は希望にそえない状況が続いております。月初めはまだまだ予約状況に余裕があります。オススメです! また、**月初め**には翌月の予約を電話にて承っております。(12 月の予約は 11 月 1 日(月)から承ります。)

お早めどうぞ! **予約専用ダイヤル 050-7550-0408**

年末年始休は H22 年 12 月 29(水) ~ H23 年 1 月 3 日(月)です